

一般社団法人日本遺伝性腫瘍学会
臨時理事会 議事録

日 時：2023年5月1日（月） 20:00～21:15

場 所：主たる事務所会議室において web 開催（zoom）

出席：理事長 石田秀行
副理事長 青木大輔、石川秀樹
理 事 有賀智之、井本逸勢、大住省三、川崎優子、下平秀樹、
西垣昌和、平沢 晃、平田敬治、門馬智之、山口達郎、吉田輝彦
監 事 鈴木眞一、武田祐子、田村和朗

欠席：理 事 隈元謙介

Web に理事 14 名、監事 3 名が出席し、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態にあり、本会が成立することが確認された。以下、石田理事長が議長となり議事を進行した。

まず石田理事長から、平沢理事（学術・教育担当）からの提出された議案「多遺伝子パネルによる遺伝学的検査を用いた遺伝性腫瘍の診療・管理指針（案）の作成について」が今回の臨時理事会招集理由であることが説明された。

引き続き、当該議案について平沢理事より当日供覧資料をもとに、本指針（案）作成を提案するに至った背景・経緯・必要性、ならびに他学会・団体との協力・連携体制、執筆項目（案）・執筆者（案）リスト、具体的な出版社選定・編集スケジュール等、事務作業担当・出版後の更新作業等、について説明が行われ、理事・監事にて審議の上、下記の【決定事項】を承認した。

【決定事項】

- ① 本学会が主体となって作成すること。名称については、「多遺伝子パネルによる遺伝学的検査を用いた遺伝性腫瘍の診療・管理指針」、「多遺伝子パネルによる遺伝学的検査を用いた遺伝性腫瘍の診療・管理の手引き」もしくは「多遺伝子パネルによる遺伝学的検査を用いた遺伝性腫瘍の診療・管理のガイドンス」を候補とし、今後 PMDA や厚労省の要望・意向を踏まえた名称とすること。
- ② 遺伝関連学会・検査関連学会、がん関連3学会、などを中心とした編集段階で協力・

連携する学会・団体と、指針（案）作成後にコメントいただく学会・団体のリストを、今後確定していくこと。また、他学会・団体よりオブザーバー参加等についても適宜受け入れること。

- ③ 金原出版へ出版依頼すること。また、非学会員等への執筆謝礼等に関しては本学会の規約・内規等に準じて対応していくこと。
- ④ 事務作業、出版後の更新作業等に関しては学会事務局と学術・教育委員会を中心として行うこと、予算などについては財務委員会と協議していくこと。

以上

一般社団法人 日本遺伝性腫瘍学会 理事会
2023年5月1日